

東田電機工業株式会社 環境行動計画

平成 27年 1月 30日

取組方針

東田電機工業株式会社は、工場や店舗の電気設備、及び制御盤の設計・製作をしております。

また、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指してまいります。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動中での省エネルギーと省資源（紙使用量の節減・節水）
- ② 製造部門、事務部門における廃棄物の削減
- ③ 工事部門の車輛燃料節約
- ④ 廃棄物リサイクル分別の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成 27年 1月 30日

東田電機工業株式会社

代表取締役社長 東田 昭一

3 環境負荷の低減目標

28年度に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも26年度です。)

【目標1】 二酸化炭素の総排出量を3%削減する

基準年の総排出量
49,361.62 (kg-CO₂)

目標年の総排出量
47,880.77 (kg-CO₂)

【目標2】 産業廃棄物の排出量を3%削減する

基準年の排出量
23.6 (t)

目標年の排出量
24.3 (t)

【目標3】 一般廃棄物の排出量を3%削減する

基準年の排出量
1.01 (t)

目標年の排出量
0.98 (t)

【目標4】 水道水の使用量を3%削減する

基準年の使用量
89 (m³)

目標年の使用量
86.3 (m³)

【目標5】 5S (整理・整頓・清掃・清潔・躰) の徹底

4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】 二酸化炭素排出量の削減

(現場担当者の取組)

- ・ 昼休みと休憩時間には、仮設照明等、使用していない機械の電源を切る
- ・ 走行経路の見直し及び相乗りを心がける
- ・ 車両の経済運転を徹底する(急発進・停止しない。経済速度の徹底。道具類等の荷物の軽減 等)
- ・ 作業効率の改善により残業時間を少なくする
- ・ 昼休みや小休憩時に車内で休憩する際は、エンジンをかけない

(事務・営業部門での取組)

- ・ 事務室の空調温度を適正(冷房時28度、暖房時20度)に設定する
- ・ 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する
- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する
- ・ 社用車の効率的な使用(運転経路、相乗り)を徹底する

- ・ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける
- ・ 車の空調温度を適正温度に設定する

【取組2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

（産業廃棄物）

- ・ 廃棄物の分別仕様を再検討し、置き場を整備する
- ・ 金属くずはできる限りリサイクルする
- ・ ウェス、軍手は使用限度を定め、無駄に廃棄しない

（一般廃棄物）

- ・ ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める
- ・ 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する
- ・ 製品をできるだけ長期間使用する

【取組3】 水使用量の削減

- ・ 配管からの漏水を定期的にチェックする
- ・ 手洗い場に節水を呼び掛ける注意書きを掲示する

【取組4】 その他の取組

- ・ 毎月、全社員による現場・倉庫・資材置き場・事務所の総点検を行い、5Sを徹底する
- ・ 製品、材料、工具は、決められた場所に返却する
- ・ 社員に環境への取組について提案を募集する

5 環境行動計画の実施体制

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、半年ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。